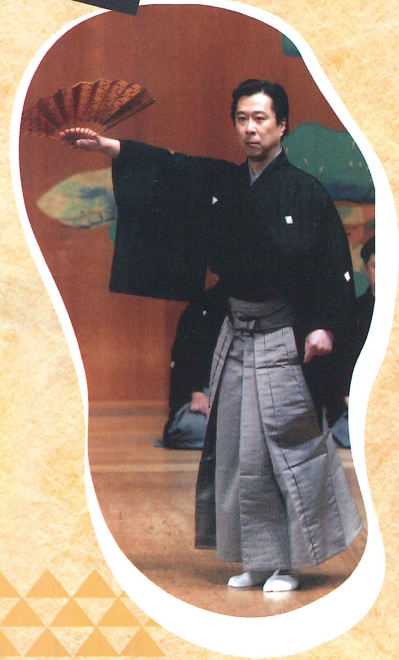




noh gaku  
**能楽**

**見ち知るべ**  
～体験講座～

たのしく能楽体験！  
舞って、謡って



講師



はしもと こうじ  
**橋本 光史**  
京都観世流シテ方  
重要無形文化財保持者  
(総合認定)



かわむら かずたか  
**河村 和貴**  
京都観世流シテ方  
重要無形文化財保持者  
(総合認定)



はしもと みつき  
**橋本 充基**  
京都観世流シテ方

日時 **2月24日** 月・祝  
2025  
(開場 10:00) 10:30 ~ 15:00 終了予定  
昼食付

場所 **米子市 児童文化センター**  
[第1クラブ室(2階) 集合]

郷土の歴史を学ぼう



ハスランタン

能楽体験の前に、米子の歴史について学びます。  
「ハスランタン」づくりもあるよ！

[指導：伯耆古代の丘公園の皆さん]

くわしくは裏面のスケジュールをチェック！

- 参加費 500円(昼食代込、当日徴収)
- 対象 米子市内の小学4～6年生
- 定員 先着30名
- 持物/服装 筆記用具、飲み物 / 動きやすい服装
- 申込・問合先

電話にて申込受付！山陰歴史館にお電話ください♪

**米子市立山陰歴史館** 電話番号 **0859-22-7161**

申込受付期間：2/1(土)～2/21(金)

【開館時間】9:30～18:00 (17:30 最終入館)  
休館日：毎週火曜日、2/12(水) ※2/11(火・祝)は開館



公式HP/X

※お申込み電話の際、名前/学校/学年/連絡先(電話番号・住所)/食物アレルギーの有無などをうかがいます。  
※イベントの様子を撮影し、皆さんの書く感想文と一緒にまとめ、参加者全員に後日郵送します。  
また、撮影写真は、当館公式ホームページや公式 SNS などで公開させていただきます。

会場アクセス [米子市西町 133 番地 (湊山公園内)]



【自動車(駐車場)】

- ・米子市児童文化センター敷地内駐車場(約70台)
- ・湊山公園駐車場(米子市児童文化センターまで500m徒歩5分)

【JR】米子駅を出て境港方面を北へ徒歩で約20分、タクシーで約5分

【バス】市内循環バス「だんだんバス」湊山公園バス停を降りて徒歩2分



日本で昔から愛されている伝統芸能「能楽」を体験するワークショップ！  
 京都から能楽師さんを招き、能の楽しさや魅力を教えてもらいます。  
 米子ではなかなかない機会！能楽と郷土の歴史を楽しく学びましょう！

## 当日スケジュール

### ★ 午前 / 第1クラブ室 (2階)

- 10:00 開場、当日受付
- 10:30 開会式
- 10:40 郷土の歴史を学ぼう！(約90分)

- 「鳥取と“能”」のお話
- およそ1000年前 淀江にあったお寺「上淀庵寺跡(かみよどはいじあと)」のお話  
(午後からの能楽体験に出てくる「舍利(しゃり)」について など)
- 「ハスランタン」づくり(指導: 伯耆古代の丘公園の皆さん)

12:10 昼休憩

### ★ 午後 / 多目的ホール (1階)

13:15 能楽ワークショップ(約90分)

- 能楽にまつわるお話
- 謡(うたい)体験
- 舞(まい)体験
- 能道具の紹介
- 実演かん賞「舍利(しゃり)」  
: おしゃか様の事が大好きな鬼のお話

14:50 閉会式

★閉会式の後、感想文を書いて提出！

上淀庵寺(イメージ)



ハスランタン



謡の解説体験



能面の解説

## 《講師紹介》 米子にゆかりのある京都の能楽師の先生です

### 橋本 光史

京都観世流シテ方  
重要無形文化財保持者  
(総合認定)

昭和44年 京都生まれ。橋本 雅夫の長男。初代は近江屋仁兵衛で明和5年に御所出入を許されている。幼少より父雅夫に師事。初舞台は満3歳で仕舞「老松」以後、数々の子方を勤め、初シテは満7歳で能「経正」。満15歳で初面を能「熊野」のツレ朝顔にて相勤める。大学卒業と共に井上嘉介師の許で修行し昭和52年独立。父と共に橋本聲吟社を主宰。京都・大阪・米子・東京を中心に能楽の普及に努める傍ら全国の小・中学校での能楽ワークショップを実施。各所で講師等を勤め、若い世代に能楽の魅力伝える。国内にとどまらず、海外での能公演やワークショップも多数。市川海老蔵の『源氏物語』や『JapanTHEATER』にて市川團十郎と舞台を共にするなど、他分野とのコラボにも意欲的に取り組んでいる。

### 河村 和貴

京都観世流シテ方  
重要無形文化財保持者  
(総合認定)

昭和54年、京都生まれ。河村 和重の長男。幼少より父の指導を受け3歳で初舞台。平成12年より13世 林喜右衛門に師事し18年に独立。京都・米子・博多で河村青嵐会を主宰。京都を中心に能楽の普及活動中。

### 橋本 充基

京都観世流シテ方

平成17年 京都市生まれ。橋本光史の長男。満3歳で仕舞「玄象」にて初舞台、満7歳で能「経正」で初シテを勤める。幼少の頃より、祖父雅夫・父光史に師事し、数々の子方を勤め、能「望月」「烏帽子折」にて子方を卒業。長じて満15歳の折、能「菊慈童」にて初面。その後も大役である能「龍虎」や「景清」のツレを勤めるなど、数々の舞台に出演している。同志社大学商学部一回生。若手能楽師のホープとして勉学と能楽の稽古との両立の日々を送っている。